

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム愛

作成日 : R7年 10 月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況(任意)
1	10 43	認知症の理解、職員の言葉かけなどちゃんとできていない	もう一度職員全体で振り返り統一した接遇を心がける	認知症の研修、言葉遣いの研修	12 か月	
2	37	利用者や家族が事業者の活動に主体的に関われるような取り組みが少ない	行事ごとがあるときに家族様にも声掛けし、できるだけ多くの人に参加できるようにする	アンケート、意見箱の設置、家族が特技を生かしてミニ教室を開く	12 か月	
3	26	環境整備の中で五感に働きかけるような刺激が少ない	安全性、快適さを保ちながら季節ごとに旬のものを置く	季節のお花を置く、昭和歌謡、クラシックなど時間帯で変える、旬の食材を食事に加える	12 か月	
4	9	利用者に選んでもらう機会が少ない	可能な限り本人の意思を確認し、その希望に沿った支援を行う	入浴後の服の選択、「何がしたい？」ではなく、「AとBどちらにするか」と選択肢を提示する	12 か月	
5	44	身体拘束に関する知識が職員全体に周知できていない	身体拘束はどういうことをしたらいけないのか、今していることを振り返る	身体拘束の研修	12 か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】

実施段階		取 り 組 ん だ 内 容 (↓ 該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	☐	① 運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		☐	② 利用者へサービス評価について説明した
		☐	③ 利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		☐	④ 運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
			⑤ その他()
2	自己評価の実施	☐	① 自己評価を職員全員が実施した
		☐	② 前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
			③ 自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		☐	④ 評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
			⑤ その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	☐	① 普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
			② 評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
			③ 対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
			④ その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	☐	① 運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
			② 利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
			③ 評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
			④ 運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
			⑤ その他()
5	サービス評価の活用	☐	① 職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
			② 「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
			③ 「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		☐	④ 「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
			⑤ その他()